

奔潮

おんうしほ

大阪ミュージアム構想について

大阪府政策企画部企画室
蔭山 敦雄

大阪ミュージアム構想とは

京都といえば「古都」、神戸といえば「港まち」など、すぐにその都市をイメージする言葉が思い浮かびます。一方、大阪は、歴史的なまちなみや豊かなみどり・自然など、魅力的な資源を各地にたくさん有していますが、ありすぎてかえって統一したイメージを思い描きにくくなっています。

そこで、大阪府は、「大阪ミュージアム構想」として、府内各地に今ある資源を発掘し、さらに磨き上げ、「展示品」として輝かせることで、「大阪全体がミュージアム」という都市の顔を形成し、大阪の魅力をさらに高めるとともに、内外への情報発信を行う運動を進めています。

この構想は、一過性のイベントでもハコモノづく

りでもなく、地域住民が主体となり、元気で笑顔あふれる大阪づくりを進めようとするもので、いわば「大阪の魅力づくりの府民運動」を目指しています。

進め方のポイント

大阪ミュージアム構想の推進にあたっては、次の3ステップによる効果的な展開を行います。

①「発掘・再発見」

この構想は新たに何かを創り出すのではなく、寺内町、近代建築などの歴史的なまちなみや、水辺の風景、棚田の風景など、今あるものを「発掘・再発見」し、「展示品」として輝かせようとするものです。また、各地で開催されるお祭りなどのイ

大阪ミュージアム構想

ライトアップ



にぎわいあふれる催し



メインエントランス
水の回廊



時代感ある展示品



自然とみどりの展示品



ベントは、ミュージアムの魅力を一層引き立てる「館内催し」として位置づけることができます。

地域住民や市町村のみなさんに地元の魅力的な資源を再発見いただき、「展示品」「館内催し」として大阪ミュージアムにエントリーしていただきたいと考えています。

②「磨き・際立たせ」

橋下知事は、大阪ミュージアムの「展示品」の魅力を「空気感」という言葉で表現しています。魅力的な場所にいくと、特に説明を受けなくても「時代」「ジャンル（自然・まちなみ・食等）」などを五感で感じ、理屈は関係なく「ここは素敵なところだ」「また来てみたい」という思いを抱くことができます。

こうした「空気感」をもった資源に、訪れた人が「時代」や「ジャンル」をはっきりと実感できるように、ライトアップなどによってさらに演出を加え際立たせることによって、「展示品」として輝きを増し魅力が高まります。

演出の手法としては、国の補助制度(まちづくり交付金、歴史まちづくり法等)を活用したまちづくりから、ボランティアによるまち案内など、各地域に応じた様々な取り組みが考えられます。

住民のみなさんを中心に市町村、大阪府などがそれぞれ役割分担のもと、創意工夫により各地域が誇る資源を「展示品」としてますます魅力的なものへと「磨き上げ」ていきたいと考えています。

③「結びつけ・発信」

こうした大阪ミュージアムの魅力を府内外に積極的にアピールすることによって、大阪の魅力づくりの府民運動としての機運を高めるとともに、大阪のにぎわいづくりにつなげていきたいと考えています。

そこで、点在する資源をストーリーで結び付けるなど、ミュージアムの様々な楽しみ方を提供するとともに、エントリーされた「展示品」のデータベース化を進め、動画を使った“わくわく感”のあるサイトやリーフレットによる情報発信を行っていきます。



他都市を圧倒する景観等で人を引きつける大阪づくり

大阪府では、とりわけ「大阪の顔」にふさわしい「展示品」、すなわち御堂筋や水の回廊、橋梁、近代建築物、歴史のまちなみなどの魅力を、「水と光」「石畳と淡い街灯」等により演出し、他都市を圧倒する景観等で人を引きつけるまちづくりを進めていきます。本年度は調査研究を行い、来年度から本格展開の予定です。また、水の都の魅力を高め、内外に発信するため、大阪市、経済界と共に「水都大阪2009」に参画します。

これらを大阪ミュージアム構想のモデルケースとして、その成果を広く発信することにより、府域全体で魅力ある大阪づくりを進めていきたいと考えています。

構想の推進と寄附のお願い

大阪ミュージアム構想は、地域住民、市町村、大阪府が各自役割を果たしながらつくりあげていく魅力づくりの府民運動です。主役は住民のみなさん、各地域のコンセプトづくりは市町村、大阪府はモデル事業の推進に加え、各主体間の橋渡しなど取組みを支援する総合プロデューサーの役割を果たしていきます。

また、大阪府では、ミュージアム構想を推進する

ため、ふるさと納税制度を活用した寄附を広く呼びかけています。府内にお住まいの方はもちろん、大阪で育った方、大阪を応援したいと思っておられる方、愛する大阪の魅力づくりにぜひ寄附をお願いいたします。

この構想を通じて、大阪といえば「大阪全体がミュージアム」という都市イメージを内外に発信し、元気で笑顔あふれる大阪を、地域住民の方々と一緒につくりあげていきたいと考えております。

寄附金の活用(案)

今後、地域住民主体で取り組む、以下のような大阪の魅力づくりに、みなさんからの寄附金を活用していきます。

- ◇御堂筋の魅力向上事業
- ◇水都OSAKA
- ◇まちづくり・人づくり事業
 - ・ソフト事業（イベントPR・人づくりなど）
 - ・ライトアップなど関連小規模ハード事業



寄附のお願い

大阪ミュージアム構想の実現に向けご協力をお願いします。寄附のお申し込み方法は次のとおりです。

〔 ※地方自治体への寄付金は、「ふるさと納税制度」により5千円を超える部分について、一定の限度（概ね住民税所得割の額の1割）まで全額控除されます。 〕

電子申請でお申し込みの場合

大阪府ホームページの「大阪ミュージアム構想」のサイトより、電子申請でお申し込みいただけます。（アドレス：http://www.pref.osaka.jp/kikaku/museum/top_2.html）

郵便、ファックスでお申し込みの場合

次のお問合せ先までご連絡ください。寄附申込書を郵送いたします。

《お問合せ先》

大阪府政策企画部企画室計画グループ大阪ミュージアム構想推進チーム

TEL：06-6944-6971 FAX：06-6944-7568